

2025 年 6 月 1 日 主の昇天 ルカ 24:44～53「あなたがたは証人となる」

私は関東地区招聘牧師として、日本ルーテル教団関東地区で、招聘牧師を持たない教会を訪ね、礼拝のお手伝いをしています。これまで日本ルーテル教団は、それぞれの教会が独立して役員会を作り、教会員の中から牧師を立てて礼拝を行い、聖書のみことばの取り次ぎと、聖餐と洗礼を行って来ました。

しかし日本の高齢化にともない、教会もまた平均年齢が上がりました。礼拝に集まる会衆も牧師も、高齢になっています。教会はいまこそ新しく生まれ変わらなければなりません。実際に新潟地区では長岡と中越の共同招聘がおこなわれています。北海道ではさらに進んで地区として牧師を招聘しています。関東でも巡回牧師が生まれ、新たに分区を超えた宣教の働きが、活発に行われています。教会は毎年、毎年、新しく生まれ変わっています。その力の源こそペンテコステ、聖霊降臨の出来事です。

天から聖霊が教会に降ってくるためには、イエスさまが天に上って行かれなければなりません。だから今日、主の昇天主日の礼拝を一緒に守りましょう。

本日の第 1 日課は使徒言行録 1 章 1 節から 11 節です。そして福音書がルカ 24 章 44 節から 53 節。実はこれは順序が真逆です。

くわたしは先に第一巻を著して、イエスが行い、また教え始めてから、お選びになった使徒たちに聖霊を通して指図を与え、

天に上げられた日までのすべてのことについて書き記しました。＞

この第一巻とはルカによる福音書です。使徒言行録はそれに続く、ルカが記した最初のキリスト教会の歴史書です。

ルーテル神学校の恩師鈴木浩教授は「聖書は神による長い救いの歴史」と言われました。「私たちは歴史を知ること、今の私たちを知る。そこから私たちは未来を考えることが出来る」

さらに先生はこのように言われました。聖書を読んで、聖霊の力に触れることによって、私たちの心の目が開かれます。知恵と啓示の霊によらなければ、私たちは神を深く知ることが出来ません。

私たちの人生は、いつも出会いと別れのくり返しです。どんなに素晴らしい出会いにも必ず別れの時が来ます。今日の日課である、主の昇天は、深い悲しみであるイエスさまとの別れを、大きな喜びに変える驚きの奇跡です。

イエスさまはどのようにして、弟子たちの悲しみを癒したのでしょうか。まず十字架上の死から、三日目イエスさまの復活です。愛する人とまた会えること。人生でこれ以上の幸せはありません。ところがイエスさまは、再びまた私たちの住む地上を離れられ、天に昇って行かれます。やっとまたお目にかかれたのに、40 日間いつもお話を聞き、また食事を共にして、前と同じようにこれからずっと一緒だと思っていたのに、イエスさまは去って行かれます。

けれど弟子たちは悲しみに沈みながら、イエスさまを見送ることをしません。＜彼らはイエスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、絶えず神殿の境内にいて、神をほめたたえ

ていた。＞ルカ 24:52-53

どうして弟子たちは大喜びをしたのでしょうか。これには 3 つの秘密があります。

まず 3 番目は、祝福です。＜イエスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。＞ルカ 24:50-51 別れの時に大切なのは、お互いの心が通じ合う事です。イエスさまの祝福は、神さまの息を直接に吹きかけられる事です。神さまは私たちに、息を吹き込んでいのちを与えられました。祝福は私たちにいのちの元気を与えてくださいます。

2 番目は贈り物の約束です。＜わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。＞

これは置き土産ではありません。イエスさまが父なる神のに昇られたあとに、弟子たちの所に天から送り届けて下さる、特別の約束されたプレゼントです。

第 1 位は、新しい仕事です。＜そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、あなたがたはこれらのことの証人となる。＞ルカ 24:44-48

イエスさまの「あなたがたは、これらのことの証人となる」というみことばは二千年の時を超え私たちに向けられております。イエスさまによって祝福を受け、新たないのちを戴いた者たちは、聖霊の導きによって新たに、イエス・キリストの証人となり

ます。これは私たち教会に集められた者たち全員に、イエスさまが与えてくださった、まったく新しい仕事です。

ルターは、この仕事を万人司祭と名付け、教会を解放しました。これを受けて私たちは、信徒も礼拝の司式やメッセージをします。また教会の委託を受けて、同じ教会の信徒である牧師が、聖餐式を執り行います。これはみんな、イエスさまが送ってくださった、聖霊のお働きです。旧約聖書と呼ばれるモーセの律法と預言者の書と詩編の中には、神さまから私たちに絶えず与えられている救いの歴史があります。この歴史を理解して、生ける神のみ子イエス・キリストの救いを、私たちは広く世界に宣べ伝えて、主の証人となりましょう。

「私たちを深く愛してくださり、また私たちも愛していたこんな素晴らしい方がいらっしゃった」これを伝えるため、わたしは生きてゆきたいと願っています。

イエスさまが天に昇られたのは、私たちを新しく生かすためです。主に感謝を捧げましょう。アーメン。